

県議会レポート

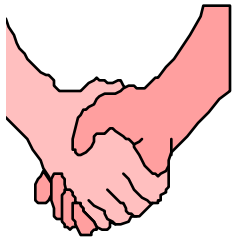
深刻な障害者の解雇

障害者の解雇数は、平成九年
度六十二人から、昨年度は二
六倍の百六十一人、本年度は、
四月から六月までの間に既に、
二十二人が解雇されています。
法律で雇用の未達成企業に
対して、県は、雇用計画の作成、
命令、勧告、企業名の公表など
が認められています。知事
は、どのような具体的な対策を
行おうとされていますか。

知事答弁

1

雇用率未達成の企業に対し
て雇入れ計画作成命令を含め
た個別の企業指導を強化し、障
害者向けの求人開拓や合同面
談会の開催など積極的にに行っ
て、障害者の雇用に向けて全力
で取り組んで参ります。



障害者の雇用と自立

新開 昌彦県議は、6月議会に続き9月議会で
一般質問に立ちました。
6月議会は、現場の声を中心に質問しましたが、
9月議会は、**障害者の雇用と自立**をテーマにし
て7項目に渡って質問をしました。

緊急雇用対策

知事は、今回の緊急雇用対策
で主婦層や障害者を中心にし
た在宅就労による新しい雇用
形態の開発を行うことと致し
ました。と述べています。

民間は、障害者のパソコン技
術の習得を進めることで雇用
を促進しています。また、
パソコンを使いインター
ネットを活用すれば在宅
宅勤務も可能です。

県は、障害者の在宅
就労に関して、具体的
にどのような仕事を
考えているのか。

知事答弁

2

今回、障害者等を
対象にパソコンを活
用した在宅就労いわ
ゆるSOHOといった
新しい就労形態の開発を
行うこととしています。

主な仕事としてはデータ
入力ではあるが、システム開
発などの仕事も期待できる。
十二年度も更に障害者の職
域開発を図ります。



高等部の職業教育に

実質的な外部講師を

福岡高等聾学校の職業教育は、実社
会で通用する能力を身につけること
が不足していると思います。

子供の希望を聞き、適性をきちんと
把握した上で、優れた外部講師の訓練
を受けるとすれば、子供の才能は、講師
の人間性に共鳴し、一つの分野に卓越
した能力に触れることによって、才能
の芽は急速に伸びるはずであります。
どの子供にも、長所は必ずあります。

ある哲学者は、使命を自覚したとき
才能の芽は急速に伸びる。」と述べて
います。障害を越えて長所を伸ばして
いく教育こそが大事であります。

教育長答弁

3

今後、各専門分野において、豊か
な経験や知識・技術を有する社会人
を招聘しての学習、企業等での就業
体験の導入を行います。

その後の展開

11月から高等聾学校
だけでなく県下14の盲
学校、養護学校にも同様に
パソコンのインストラク
ターを導入することになり
ました。
今後の障害者の就職に
期待が寄せられています。